

平成27年度 福島県優良建設工事表彰

部門	工事写真	事業名・地区名／工事場所／工事概要／会社名
水路部門		<p>農村地域環境保全整備事業 西郷南部（にしごうなんぶ）地区 西白河郡西郷村米 地内 水路工 L=353.6m 株式会社兼子組 代表取締役 兼子聡</p> <p>本工事は、農地及び集落沿いを流下する農業用排水路の改修工事である。 独自の取組みとして、2週間分の工程表を作成することにより素早いフォローアップを行った点、分水路の越流部に曲面型枠を使用し、流水の円滑な越流と構造物の美観を確保した点、宅地に隣接する箇所において掘削後速やかにシートを設置し、掘削法面の侵食、崩落の防止を図った点は、高く評価できる。 さらに、コンクリート構造物のきめ細やかな養生管理を行うことにより、極めて優れた美観を確保するなど、出来形・出来ばえ共に優秀である。</p>
農道部門		<p>農地保全整備(農地浸食防止)事業 柱田東（はしらだひがし）地区 伊達市保原町柱田 地内 道路工（水兼道路）L=306.7m 森藤建設工業株式会社 代表取締役 森藤忠嗣</p> <p>本工事は、樹園地内における水路兼用道路の改良工事である。 樹園地内の狭小な農道工事であるため、農繁期の収穫作業等に支障を及ぼさないように、地元農家の意見を聞き取りしながら、施工順序や通行止の期間を検討するなど、農作業に最大の配慮して計画的な施工に努めたことは高く評価できる。 急勾配、急カーブ区間の舗設では、機械配置を工夫して十分な転圧を行い、撓みもなく平坦性も確保されているとともに、勾配のある曲線区間における擁壁の施工においても、隙間処理が適正に行われ、通りも良く、出来形・出来ばえ共に優秀である。</p>
ほ場整備部門		<p>経営体育成基盤整備事業 経沢（へざわ）地区 会津若松市湊町大字平瀧 地内 区画整理工 A=12.8ha マルト建設株式会社 代表取締役 上野清範</p> <p>本工事は、軟弱地盤で排水不良により不等沈下が見られるほ場の区画整理工事である。 整地工では、既設の暗渠排水管を見つけて新設の暗渠排水管に接続したほか、排水路を先行して施工するなど田面を十分乾燥させ、平坦性の高い水田整備を行った点は高く評価できる。 また、地元要望の苗代用ハウス団地のほ場確保では、降雪前に暗渠排水工事と整地工事を行い、春先に除雪と整地を行うなど計画的に施工した点も評価に値する。 きめ細やかな施工により、美観も優れており、出来形・出来ばえ共に優秀である。</p>

平成27年度 福島県優良建設工事表彰

部門	工事写真	事業名・地区名／工事場所／工事概要／会社名
治山部門		<p>復旧治山事業 山寺前（やまでらまえ）地区 会津若松市門田町大字御山字山寺前 地内 流路工 L=101.4m 株式会社横山組 代表取締役 横山俊作</p> <p>本工事は、床固工や護岸工などの比較的小規模なコンクリート構造物で構成された流路工の工事である。 曲線区間や構造物同士の間隔の調整など測点以外にも細かく管理対象点を設置し、適切な現場管理を行ったことにより、通りの良い線形となっている。 また、資材の運搬経路となった集落内の安全の確保や、果樹園の農作業への影響を最小限とするために、地元との連絡調整を行い、綿密な施工管理に基づいて計画的に施工した点も評価できる。 コンクリートの表面も丁寧に仕上げられており美観にも優れ、出来形・出来ばえ共に優秀である。</p>
林道部門		<p>森林居住環境整備事業 矢竹阿多根（やたけあたね）線 南会津郡南会津町熨斗戸字矢竹 地内 道路工（舗装工）L=893.8m 株式会社館岩工務所 代表取締役 芳賀博之</p> <p>本工事は、曲線区間や勾配変化点の多い林道の舗装工であり、適切な現場管理と、高い技術力が求められる工事である。 曲線部の舗装において、締固め機械による合材の外側への押出しを考慮して中心部の敷均し量を調整し、舗装厚及び横断勾配の確保に努めるなど、現場経験に基づいた高い技術力が見られる。 また、ISO14001を取得し、環境負荷の軽減を継続的に実践するなど、環境改善に取り組む意識も高い。 舗装の仕上げにおいてもきめ細やかな配慮がみられ、出来形・出来ばえ共に優秀である。</p>
特殊構造物部門		<p>農業用河川工作物応急対策事業 牛川（うしかわ）地区 大沼郡会津美里町字中新田 地内 取水堰躯体工 一式 江川建設工業株式会社 代表取締役 波田野悦男</p> <p>本工事は、一級河川区域内にある頭首工（堰体・魚道・護床部）の改修工事である。 冬期間に堰体の全面改修及び関連工事による起伏ゲートの据付けを、半川締切により実施しなければならない時間的制約がある中、関係者と綿密な調整を行いながら徹底した工程管理に努め、工期内に工事を完成させたことは高く評価できる。 堰体下流エプロン部のコンクリートのはつり作業に、道路工事で使用する切削機を使用し、均質な仕上がりを確保するとともに、コンクリート養生に、雪寒仮囲い工を用いるなど、品質を確保するための工夫を凝らしており、出来形・出来ばえ共に優秀な工事である。</p>

平成27年度 福島県優良建設工事表彰

部門	工事写真	事業名・地区名／工事場所／工事概要／会社名
治山（災害復旧工事） 部門		<p>林地荒廃防止施設災害復旧事業(23年災) 十二本松（じゅうにほんまつ）地区 相馬市尾浜字十二本松 地内 護岸工 L=575.5m 草野建設株式会社 取締役社長 草野清貴</p> <p>本工事は、東日本大震災で被災した護岸工の復旧工事である。隣接する海岸堤防、市道の復旧工事との工程の調整や、資機材の計画的な手配など、徹底した施工管理を行い、復旧工事が最も集中する時期に工期内に完成させたことは高く評価できる。また、鋼矢板の打込みは、H形鋼製のガイドを用いて慎重に行い、中心線のずれが小さく正確にできている。頭部コンクリートの屈曲部の加工も丁寧で、松川浦との景観となじみ、極めて美しい美観となっており、出来形・出来ばえ共に優秀である。</p>
特殊構造物（災害復旧工事） 部門		<p>農業用施設災害復旧事業(23年災) 藤沼湖（ふじぬまこ）地区 須賀川市滝 地内 取水トンネル工 L=257.2m 三栄建設株式会社 代表取締役 柳沼秀徳</p> <p>本工事は、東日本大震災で被災した藤沼ダムの本堤復旧工事の支障となった取水トンネルの付替え工事である。最小断面の掛矢板工法によるトンネル工事で、上下流部に計画された半径50mの急カーブ区間の掘削や覆工、坑口付近の泥濘化した地盤改良など、現場条件、施工条件とも難易度の高い工事である。レーザーセオドライトと電子水もり管により測量を行い、急カーブ区間の施工における正確性を確保したほか、妻板部に隙間を開けることにより、覆工セントル打込み後のブリージング水の発生を抑えるなど、品質を確保するための工夫を凝らしており、出来形・出来ばえ共に優秀である。</p>